# 平成28年度 決算 認定

# 一般会計の歳出は493億6425万円

9月定例会は、9月1日から21日までの日程で開かれました。

本定例会では、13人の議員が登壇し、市政について一般質問を行いました。

また、市長から提案のあった平成29年度花巻市一般会計補正予算（第2号、第3号）、条例改正や契約など6件の議案を審議し、原案どおり可決しました。

平成28年度各会計決算については、決算特別委員会を設置して審査を行い、全ての決算を原案どおり認定しました。

なお、平成28年度一般会計決算額は、前年度比プラス0・2％となっております。

一般会計や各特別会計、下水道事業会計決算額は下表のとおりです。

また、決算特別委員会で出された主な質疑を下欄に掲載します。

## 平成28年度会計別の決算額（歳出）

| 会計名 | | 歳出決算額 |
|---|---|---|
| 一般会計 | | 493億6425万5535円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 107億1933万1972円 |
| | 後期高齢者医療 | 19億2408万3423円 |
| | 介護保険 | 96億7415万7316円 |
| | 公設地方卸売市場事業 | 6224万1853円 |
| | 農業集落排水等汚水処理事業 | 14億5597万6499円 |
| | 小計 | 238億3579万1063円 |
| 合計 | | 732億0004万6598円 |

## 平成28年度 下水道事業会計

**○収益的収支**

【収入】23億1471万8617円
【支出】23億2248万5958円
【損益】　△ 776万7341円

**○資本的収支**

【収入】15億4327万5539円
【支出】25億　901万3740円
【不足分】△ 9億6573万8201円
※当年度分の留保資金などで補てん

## 決算特別委員会 質疑 Q&A

### マイナンバー導入事業

**Q マイナンバー導入事業における市の負担額は？**

A 総事業費3億4800万円のうち、市の持ち出し額は少なくとも1億5000万円超。

### 福祉相談件数が多いことへの対応

**Q 福祉相談は、民生相談員が246名で相談件数8443件に対し、地域福祉訪問相談員は8名で6885件と多いが？**

A 平成29年度から地域福祉訪問相談員は、2名増員し10名体制で実施。

### ゴミ処理事業の負担金

**Q 岩手中部広域行政組合のゴミ処理施設の負担金が予算より増えているが？**

A 平成28年度の負担金は、平成26年度の処理量の割合に応じ積算されており、本市の負担割合は50・8％である。

### 国体開催経費の総額

**Q 国体開催経費の総額と経済効果は？**

A 平成25年度から28年度までに10億4100万円ほどとなっている。施設整備費7億9000万円は市内業者に発注し、その他印刷、広告費等に直接の経済波及効果があり、消費支出額は21億9400万円と試算する。



### 有害鳥獣対策

**Q 電気柵と有害鳥獣捕獲の実績は？**

A 電気柵の設置実績は、花巻8件、大迫35件、石鳥谷2件、東和1件。鳥獣捕獲実績は、カラス1175件、カワウ32件、ゴイサギ11件、ウソ150件、ハクビシン29件、イノシシ1件、シカ267件、クマ22件。

### 青年就農給付金の対象

**Q 法人への新規就農は青年就農給付金対象か？**

A 給付要件の中に常勤の雇用契約を結ばないという定めがあり、法人に就職した場合は対象外。新規就農者が自分で法人経営をした受給例は1件ある。

### 市道への民有林の「はみ出し」

**Q 道路通行の妨げとなる民有地の立ち木や雑草等の対策は？**

A 雑草は幹線道路や危険箇所については市で草刈りをするが、民家から出ている立木は個人財産であり、通知書により伐採を促している。

### 産業支援アドバイザーの活動

**Q 企業の経営力向上支援事業である産業支援アドバイザーの内容と成果は？**

A 平成28年度実績は6件。作業現場での工程改善や商品開発、販路拡大が2件、環境マネジメントシステム関係が3件、ホームページ作成・SNS対応へは1件。即効的な効果より継続的な支援による成果が出ている。

### 消防団車両のオートマ車導入

**Q オートマチック車限定免許の消防団員がいることに対応するため、消防団車両にオートマチック車の導入は？**

A 消防団車両約130台は全てマニュアル車であり、団員不足の解消や消防団の活性化につなげるためにも、現在採用しているベース車両のオートマ・四駆を確認し、今後、導入にむけて検討していく。

### 小中学区再編調査事業で出された意見

**Q 未来創造知恵出し会議と保育教育検討会議において出された意見の内容は？**

A 在りたい学校の姿として、安全・安心で地域・保護者との連携、交流があること。放課後の子どもたちの居場所の確保。職業観の育成。1学級20人以上35人未満が適正などといった意見が出された。

# 平成29年度　一般会計補正予算 総額3億6847万円の増額

## 補正予算第2号

平成29年度一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出それぞれ3億6641万円を増額とするもの。主な項目は次のとおりです。

▼湯口字鉛後山国有林の分収林売却に伴い、部分林組合に対し、管理委託契約に基づく分収金609万4000円を交付する。

▼外川目地区振興センターが急傾斜地危険地区に指定となり、緊急時の指定避難場所に不適格となったことから、同区域内の下中居自治公民館を指定緊急避難場所とするため、223万8000円で耐震補強などの工事を行う。

また、避難対策事業として2368万5000円で、指定緊急避難場所など35カ所に公衆無線LANを整備する。

▼放課後児童支援員の勤続年数に合わせて、支援員としてのレベルの確保と、向上のための研修実績に応じた人件費に10年以上＝年額37万2000円、5年以上＝年額24万8000円、5年未満＝12万4000円加算する。

また、下似内に新設の小規模保育事業所（定員19人）に対し、483万1000円を補助する。

▼畜産競争力強化整備事業として、家畜飼養管理施設等の整備に対して、6477万2000円を補助する。

▼宮沢賢治童話村の野外ステージを5680万8000円で整備する。

▼災害公営住宅建設に関する用地取得費として、また物件など移転補償費の増に要する経